

# 平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	体育施設改修整備事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	スポーツ振興課			
施策	3-5	スポーツ活動の基盤づくり		主管課長	金子 邦晃			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	スポーツ活動の基盤づくりの事務管理	意図	体育施設を円滑に運営し、利用者に快適に利用してもらう。
事業内容	体育施設管理を行うための事務管理・スポーツ活動の基盤づくり推進のための事業事務。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年4月から指定管理者制度を導入し、体育施設の管理運営を行っている。スポーツフィールドについては、無料の体育施設のため市が管理している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	安心・安全なスポーツ活動の場を市民に提供することができた。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		18,232,284	20,381,015	2,161,400			
事業費(b)(円)		16,850,284	18,875,015	788,400			
うち一般財源		16,850,284	18,875,015	788,400			
職員給与費(c)(円)		1,382,000	1,506,000	1,373,000			
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	突発的な修繕及び老朽化している施設の改修等を行い、市民の安全性並びに利便性向上を図る。	③取組の課題	屋外体育施設は老朽化していることから、さらに計画的に改修整備が必要となる。
②今年度(H28)に実施した取組	運動公園内の物置移設・東部市民プールの車止め改修を行った。	④今後の改善計画	引き続き、基本計画に位置づけし利用者の安全・利便性の向上に努めたい。